

地域における取組例【IoT・ロボット】 介護サービスイノベーション研究会

(株) 幸和製作所
(大阪府堺市)ほか

- 歩行車・歩行器、シルバーカー、車いす、杖等、介護・医療関連製品の製造および販売。
- 当社製品（歩行器）が厚生労働省・テクノエイド協会主催「介護ロボット導入好事例表彰事業」にて受賞。

ポテンシャル
(強み)

- 高齢化に伴う要介護認定者の増加等社会課題が多くある中、関西には介護分野の産官学の集積が存在。
- 本事業を通して介護分野での課題解決のための様々なイノベーション創出の仕組みの構築等が期待。

取組内容

- 介護分野におけるユーザーとサプライヤーの企画設計段階からの濃密な摺り合わせ機能の整備を実施。
- その他、介護施設側のロボット導入に向けた体制整備等を通し、ユーザーオリエントドの製品開発を目指す。

i-RooBO Network Forum等、関西に集積する介護ロボットメーカー・介護分野に進出を検討するロボットメーカー

企業例：(株)幸和製作所 資本金:1億7,867万75円 従業員数:438名(連結)、②BCC(株)資本金:2億5,600万円

介護サービスイノベーション研究会

(公財) 大阪市都市型産業振興センターによる、多様な専門家と連携したユーザーオリエントドの製品開発支援

①大学・試験機関・病院

大阪工業大学、大阪大学大学院
産総研、兵庫県立リハビリテーションセンター

②国・自治体等 (オブザーバー)

近畿厚生局、神戸市

③大手企業

パナソニック、大和ハウス工業、コニカミノルタ

④介護事業者

オリックスリビング、スーパーコート、青山ケアサポート、
(公社)大阪介護老人保健施設協会関連

コーディネーターや支援機関のサポートによるユーザーとサプライヤーの企画設計段階からの「**濃密な摺り合わせ機能**」の整備

介護施設が介護ロボット等に関する理解を深め、これらを有効に活用するための「**受入れ側(施設)の体制整備**」

介護ロボット等の普及促進のため、介護施設での導入効果の見える化やショーケース化を目指す「**パイロットプロジェクトの形成**」

在宅介護や海外展開といった「**中長期的な課題**」に対する検討

次代を睨んだイノベティブな介護サービスのモデル形成・今後の我が国の介護分野における社会課題の解決